

国際医療福祉大学の理念と教育目標

国際医療福祉大学（以下「本学」という。）は、「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」という3つの基本理念と、この理念を実現するための7つの教育理念（人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営）を掲げ、病める人も、障害を持つ人も、健康な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指した教育を行う。

アドミッションポリシー

●入学者に求める要件

本学は、日々進化する保健医療福祉分野の需要に対応できる指導的な人材の育成を実現すべく、学生、社会人、留学生、帰国生徒に対して学修の機会を提供し、このような社会的な需要に応える教育を展開するものである。

本学が入学者に求める要件は、以下のとおりである。

1. 本学の基本理念及び教育理念を十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を有していること
2. これからの時代の保健、医療、福祉分野を担っていこうとする情熱を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲と能力を有していること
3. 保健、医療、福祉分野における情報科学技術の高度化、専門化及び国際化に対応するための努力を継続できる者であること
4. 幅広い教養と視野を備えた豊かな人間性を養うため、積極的に自らを磨いていける者であること
5. あらゆる人に対して自らの心を開き、コミュニケーションをとれる者であること
6. 学業・社会貢献・技術・文化・芸術・スポーツの分野で優れた活動実績を有し、本学で修得した技術をもとに、将来それぞれの分野で活躍したいという意欲を持つ者であること
7. 本学での学びを生かし、将来、母国あるいは国際社会において、保健、医療、福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を持つ者であること

●各学科の求める学生像

1) 看護学科（保健医療学部／成田看護学部／小田原保健医療学部／福岡看護学部）

- ①看護職者として「共に生きる社会」の実現に貢献したいと考える人
- ②保健医療分野の発展に貢献したいと考える人
- ③他者を尊重し、誠実な人間関係を築くことができる人
- ④豊かな人間性を養うため、自らを磨いていける人
- ⑤主体的に学ぶ意欲と能力を持ち、努力ができる人
- ⑥柔軟な発想と探究心を持つ人

2) 理学療法学科（保健医療学部／成田保健医療学部／小田原保健医療学部／福岡保健医療学部）

- ①理学療法士として、物事に前向きで常に向上しようとする意志を持つ人
- ②理学療法士として、筋道を立てて科学的に考えることができる人
- ③理学療法士として、人の心の痛みが理解できる人
- ④理学療法士として、地域とのつながりを大切に考えることができる人
- ⑤理学療法士として、相手の立場に立って物事を考えることができ、「共に生きる社会」の実現に貢献したいと考える人

3) 作業療法学科（保健医療学部／成田保健医療学部／小田原保健医療学部／福岡保健医療学部）

- ①本学のアドミッションポリシーを理解し、作業療法士として「共に生きる社会」の実現に強く貢献したいと考える人
- ②作業療法学科のカリキュラムポリシーとティプロマポリシーを十分に理解し、自ら学ぶ姿勢を持ち続け、作業療法士にむけた学修に積極的に取り組む人

4) 言語聴覚学科（保健医療学部／成田保健医療学部／福岡保健医療学部）

- ①建学の精神「共に生きる社会の実現を目指して」に共感し、言語聴覚士を目指し学ぶ意欲を持つ人
- ②命の尊さを理解する心を持ち、他者を思いやれる人
- ③医療・福祉・教育などの分野の学問の発展に寄与するため、自らを磨き続ける人

5) 視機能療法学科（保健医療学部）

- ①建学の精神「共に生きる社会の実現を目指して」に共感し、視能訓練士などの視覚にかかわるプロフェSSIONALとして働く情熱を持つ人
- ②視覚科学に強い関心を持ち、洞察を深めようとする人
- ③視覚科学の知識を活かして社会に貢献したいという意欲を持っている人

6) 放射線・情報科学科（保健医療学部）

- ①本学の基本理念と教育理念とを十分に理解し、診療放射線技師として「共に生きる社会」の実現に強く貢献したいと考える人
- ②診療放射線技師として、これからの時代の保健医療を担っていこうとする情熱を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲と能力とを持つ人
- ③診療放射線分野における科学技術の高度化、専門化、及び国際化に対応するための努力を継続できる人
- ④使命感・倫理観・責任感・思いやりの心などの豊かな人間性を養うため、自ら積極的に研鑽できる人

7) 医療福祉・マネジメント学科（医療福祉学部）

- ①「共に生きる社会」の実現に専門職業人として貢献したいと考える人
- ②自ら積極的に、豊かな人間性と幅広い教養を身につけることができる人
- ③すべての人々に対し自らの心を開き、十分なコミュニケーションができる人

8) 医療マネジメント学科（赤坂心理・医療福祉マネジメント学部）

- ①「共に生きる社会」の実現に専門職業人として貢献したいと考える人
- ②自ら積極的に、豊かな人間性と幅広い教養を身につけることができる人
- ③すべての人々に対し自らの心を開き、十分なコミュニケーションができる人
- ④医療や情報処理に興味を持ち、習得に向けての強い意志を持つ人

9) 薬学科（薬学部）

- ①「共に生きる社会」の実現を理解し、イメージできる人
- ②使命感・倫理観・責任感・思いやりの心など、豊かな人間性を養うために、努力し続けることができる人
- ③薬剤師に必要な知識・技能・態度のバランスを意識して、目標を設定し自ら向かって進める人

10) 医学検査学科（成田保健医療学部／福岡保健医療学部）

- ①本学科の特質を理解し、臨床検査医学に対する明確な目的意識を持ち、医療の発展に寄与する意志を持つ人
- ②思いやりの精神をもち、「共に生きる社会」の実現に向け、周囲と協働して国際的な社会貢献ができる人間性を持つ人
- ③臨床検査技師として、常に進歩し続ける臨床検査医学分野を自ら積極的に学び開拓する資質を持つ人

11) 心理学科（赤坂心理・医療福祉マネジメント学部）

- ①心理専門職を目指し、現実世界の問題を解決すべく物事に前向きで常に向上しようとする意志を持つ人
- ②心理専門職を目指し、自らの主観にのみ頼ることなく、筋道を立てて科学的に考えることができる人
- ③心理専門職を目指し、対人援助が必要とされる基本的な資質として、人の心の痛みが理解できる人
- ④心理専門職を目指し、個人の心理援助にとどまらず、家族・地域・社会とのつながりを大切に考えることができる人
- ⑤心理専門職を目指し、思想信条の異なる相手の視点や立場に立って物事を考え、「共に生きる社会」の実現に貢献したいと考える人

※各学科のカリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、アセスメントポリシーは本学ホームページ（<https://www.iuhw.ac.jp/about/>）で確認してください。

●入学選抜方針

1) AO 入試

- ①高等学校において基礎学力をしっかりと身に付けていること。
- ②高等学校において勉学以外の課外活動などにも積極的に取り組んでいること。
- ③コミュニケーション能力に優れ、医療福祉の専門職を目指すにあたり適性を備えていること。また入学後も継続的に学習を続けていくことができること。
- ④本学入学への強い意志および、卒業後は医療福祉専門職として活躍する強い意志を持っていること。

2) キャリア重視入試

- ①勉学以外の課外活動等にも積極的に取り組んでいること。またその経験を踏まえ、自身の将来像について自分の言葉で説明ができること。
- ②コミュニケーション能力に優れ、医療福祉の専門職を目指すにあたり適性を備えていること。また入学後も継続的に学習を続けていくことができること。
- ③本学入学への強い意志および、卒業後は医療福祉専門職として活躍する強い意志を持っていること。

3) 高校推薦入試

- ①高等学校において全般的な基礎学力をしっかりと身に付けていること。
- ②学習意欲とコミュニケーション能力に優れ、医療福祉の専門職を目指すにあたり適性を備えていること。また入学後も継続的に学習を続けていくことができること。
- ③本学入学への強い意志および、卒業後は医療福祉専門職として活躍する強い意志を持っていること。

4) 特待奨学生特別選抜入試

- ①各学部学科が指定する試験科目について、高等学校で学ぶ内容に関する確かな学力を身に付けていること。特に保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部、小田原保健医療学部、福岡看護学部、福岡保健医療学部の志望者においては英語の学力を、保健医療学部のうち放射線・情報科学科の志望者においては英語に加えて数学または理科の学力を、医療福祉学部の志望者においては英語または国語の学力を、薬学部の志望者においては英語および化学の学力を十分に身に付けていること。
- ②医療福祉専門職として必要とされるコミュニケーション能力を有していること。

5) 一般入試

- ①各学部学科が指定する試験科目について、高等学校で学ぶ基礎的内容を十分に理解し身に付けていること。特に保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部、小田原保健医療学部、福岡看護学部、福岡保健医療学部の志望者においては英語の学力を、保健医療学部のうち放射線・情報科学科の志望者においては英語に加えて数学または理科の学力を、医療福祉学部の志望者においては英語または国語の学力を、薬学部の志望者においては英語および化学の学力を十分に身に付けていること。
- ②医療福祉専門職として必要とされるコミュニケーション能力を有していること。

6) 大学入試センター試験利用入試

各学部学科が指定する試験科目について、高等学校で学ぶ基礎的内容を十分に理解し身に付けていること。特に保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部、小田原保健医療学部、福岡看護学部、福岡保健医療学部の志望者においては英語の学力を、保健医療学部のうち放射線・情報科学科の志望者においては英語に加えて数学または理科の学力を、医療福祉学部の志望者においては英語または国語の学力を、薬学部の志望者においては英語および化学の学力を十分に身に付けていること。

7) 社会人特別選抜入試

- ①社会人として広い教養を身に付けており、論理的な思考・表現ができること。
- ②入学後に他の学生の指導的立場となり得る資質を持っていること。
- ③コミュニケーション能力に優れ、医療福祉の専門職を目指すにあたり適性を備えていること。また入学後も継続的に学習を続けていくことができること。
- ④本学入学への強い意志および、卒業後は医療福祉専門職として活躍する強い意志を持っていること。
- ⑤薬学部志望者においては英語および化学の学力を十分に身に付けていること。

8) 帰国生徒特別選抜入試

- ①高等学校までに学んでおくべき全般的な基礎学力をしっかりと身に付けていること。
- ②国際的感覚に優れ、「国際性を目指した大学」を基本理念の一つとする本学において、入学後に他の学生の模範となり得る資質を持っていること。
- ③コミュニケーション能力に優れ、医療福祉の専門職を目指すにあたり適性を備えていること。また入学後も継続的に学習を続けていくことができること。
- ④本学入学への強い意志および、卒業後は医療福祉専門職として活躍する強い意志を持っていること。

9) 留学生特別選抜入試

- ①入学後の学修と将来の資格取得において支障がないレベルの、日本語能力を身に付けていること。
- ②コミュニケーション能力に優れ、医療福祉の専門職を目指すにあたり適性を備えていること。また入学後も継続的に学習を続けていくことができること。
- ③卒業後は、母国あるいは国際社会において医療福祉専門職として活躍する強い意志を持っていること。